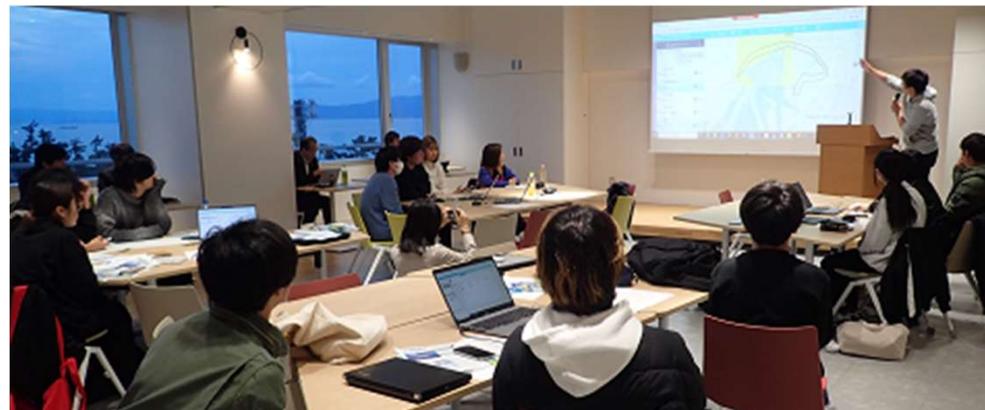


- 海洋を利用している自治体や海洋に関連する教育・研究機関等でワークショップを開催し、参加者との意見交換を通じた「海する」活用事例を調査（今年度12月に3件実施）
- 潜在的なユーザーに「海する」に触れてもらい、ユーザーを増やす効果にも期待
- 得られた成果を記録し、他の地域に横展開していく

開催地	ワークの内容
静岡県 静岡市 (12/6)	東海大学の学生を対象に実施。駿河湾における、海中ロボットによる生物調査の適地、養殖適地、生態系影響リスクの高いエリア等を議論。
広島県 江田島市 (12/12)	市内の海洋関係者を対象に実施。島の観光資源や魅力発信の方法、海ごみの影響等を議論。
長崎県 長崎市 (12/15)	洋上風力発電事業の適地についての意見交換、教育・観光による振興等を議論。



東海大学におけるワークショップでの参加者からの発表の様子

➡ 成果やワークショップの様子は、今年度末に開催予定の官民フォーラム（シンポジウム）にて報告し、同様の課題を抱える自治体・団体等に横展開できるようにすることを計画。